



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月28日

上場会社名 山陽特殊製鋼株式会社  
 コード番号 5481 URL <http://www.sanyo-steel.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月15日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 藤原 信義  
 (氏名) 須多 敦子

TEL 079-235-6005

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	42,244	17.1	3,420	14.6	3,335	15.8	2,007	21.5
23年3月期第1四半期	36,061	118.9	2,983	—	2,880	—	1,651	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 2,261百万円 (268.0%) 23年3月期第1四半期 614百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	12.44	—
23年3月期第1四半期	10.23	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	183,887	94,045	50.9
23年3月期	188,213	92,591	49.0

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 93,615百万円 23年3月期 92,181百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、定款において9月30日(第2四半期末日)および3月31日(期末日)を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。(「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」欄をご参照ください。)

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	75,000	△1.8	4,500	△39.3	4,500	△35.9	2,700	△33.3	16.73
通期	155,000	△2.8	11,600	△18.3	11,500	△14.2	6,900	△11.8	42.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	167,124,036 株	23年3月期	167,124,036 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	5,751,346 株	23年3月期	5,749,745 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	161,373,727 株	23年3月期1Q	161,406,805 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には、今後の電力供給事情等、様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。(業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。)

当期の配当につきましては、事業環境の先行きが不透明であるため、現時点では具体的な金額は未定であります。配当予想額につきましては、今後の事業環境を見極めつつ検討を行い、開示が可能となった時点で速やかにお知らせいたします。

## 【添付資料】

### (目次)

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
参考資料	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成23年4月1日～平成23年6月30日）のわが国経済につきましては、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により大きな影響を受け、生産活動は大きく低下いたしました。その後、供給面での制約が和らぐにつれ、生産活動は持ち直しの動きを示してまいりましたが、原発事故を契機とする電力不足問題は、様々な要因により、むしろその深刻さを増しつつあります。こうした影響が懸念される状況のもと、四半期末を迎えることとなりました。

特殊鋼業界におきましては、震災発生後、特に自動車分野での生産が低下したことにより、特殊鋼熱間圧延鋼材の生産は、前年同期比減少いたしました。

このような中、当第1四半期の当社グループの販売数量は、自動車業界の生産回復が早かったことや、輸出が引き続き堅調に推移したことなどから、前年度第4四半期とほぼ同じ水準となり、米国発の金融危機に端を発した景気の急減速からの回復途中であった前年同期を上回りました。これにより、売上高につきましては、上述の販売数量の増加に加え、鉄スクラップサーチャージ制の適用による販売価格改善もあり、前年同期比61億82百万円増の422億44百万円となりました。利益面につきましては、減価償却費、人件費等の固定費は増加しましたものの、販売数量の増加やコストダウンの実施に注力したことなどにより、経常利益は、前年同期比4億55百万円増の33億35百万円、四半期純利益は、同3億55百万円増の20億7百万円となりました。

事業セグメント別の売上高および営業損益の状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

#### 鋼材事業

東日本大震災の影響により自動車業界を中心とした一時的な生産の低下はありましたものの、それからの回復が早かったことや輸出が引き続き堅調であったことなどから、当第1四半期の販売数量は、前年同期を上回りました。これによる販売数量の増加や鉄スクラップサーチャージ制の適用による販売価格の改善などにより、売上高は前年同期比54億28百万円増の390億33百万円となりました。営業利益につきましては、販売数量の増加およびコストダウンの実施などにより前年同期比7億87百万円増の28億27百万円となりました。

#### 特殊材事業

耐熱・耐食合金、金属粉末製品などの製造および販売を行っており、当四半期の売上高は前年同期比3億20百万円増の15億66百万円、営業利益は前年同期比1億26百万円減の1億60百万円となりました。

#### 素形材事業

鋼材事業と同様、販売数量の増加や鉄スクラップサーチャージ制の適用による販売価格の改善などにより、売上高は前年同期比2億3百万円増の40億14百万円となりました。営業利益につきましては、販売数量の増加などにより前年同期比23百万円増の2億53百万円となりました。

#### その他

子会社を通じて、情報処理サービスを行っております。売上高は、一部の取引に関わる契約形態の変更という一時的な要因により、前年同期比61百万円減の1億52百万円となりました。営業利益は、売上高の減少により6百万円の損失（前年同期は10百万円の利益）となりました。

**(2) 連結財政状態に関する定性的情報**

当四半期末の総資産残高は、たな卸資産の増加があったものの、現金及び預金の減少などにより、1,838億87百万円（前期末比43億25百万円減）となりました。

負債残高は、未払法人税等、賞与引当金の減少などにより、898億42百万円（前期末比57億80百万円減）となりました。

純資産残高は、四半期純利益の計上などにより940億45百万円（前期末比14億54百万円増）となりました。

**(3) 連結業績予想に関する定性的情報**

今後のわが国経済の見通しにつきましては、各分野における生産活動の回復や中国・インドを中心とする新興国の経済成長等により、緩やかな成長基調が続くものと考えられますが、他方、ギリシャ財政危機を契機とした欧州を中心とする金融不安や、新興国のインフレ抑制策等による経済成長鈍化の懸念、ユーロ安・ドル安・円高による企業収益の圧迫、さらには全国的に深刻さを増しつつある電力不足問題などの不安要素もあり、当社グループを取り巻く経営環境は、不透明性を増しております。

こうした中、当社グループとしては、需要家ニーズや需要動向への的確な対応、非価格競争力の強化に向けた取り組みに一層注力すると共に、コストダウンのさらなる徹底等の内部努力や、鉄スクラップサーチャージ制度の拡充、確立など、高品質の特殊鋼を適切に供給出来る事業体制の構築へ向けてグループの総力を挙げて取り組み、より一層の企業価値の増大を図っていく所存であります。

なお、第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、第2四半期以降が前述の不安要素により不透明な状況であることから、第1四半期において当初想定を上回った分のみを上方修正した上で、公表させていただきます。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には、今後の電力供給事情等、様々な不確実要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,990	11,128
受取手形及び売掛金	52,847	52,220
商品及び製品	7,028	8,402
仕掛品	21,030	23,516
原材料及び貯蔵品	14,080	14,829
その他	3,198	2,237
貸倒引当金	△12	△8
流動資産合計	117,162	112,325
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	34,048	32,927
その他(純額)	24,778	26,321
有形固定資産合計	58,827	59,248
無形固定資産	740	700
投資その他の資産	11,482	11,612
固定資産合計	71,050	71,562
資産合計	188,213	183,887
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,040	16,087
短期借入金	35,389	35,603
未払法人税等	2,664	516
賞与引当金	2,399	1,171
役員賞与引当金	94	16
その他	13,090	12,465
流動負債合計	70,678	65,862
固定負債		
長期借入金	22,400	21,400
退職給付引当金	1,310	1,413
役員退職慰労引当金	56	48
環境対策引当金	376	376
その他	800	741
固定負債合計	24,943	23,979
負債合計	95,622	89,842

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,182	20,182
資本剰余金	22,595	22,595
利益剰余金	50,138	51,339
自己株式	△1,756	△1,757
株主資本合計	91,160	92,360
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,728	1,904
為替換算調整勘定	△706	△649
その他の包括利益累計額合計	1,021	1,254
少数株主持分	409	430
純資産合計	92,591	94,045
負債純資産合計	188,213	183,887

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	36,061	42,244
売上原価	30,416	35,755
売上総利益	5,644	6,488
販売費及び一般管理費	2,660	3,067
営業利益	2,983	3,420
営業外収益		
受取利息	8	3
受取配当金	60	84
その他	99	55
営業外収益合計	168	143
営業外費用		
支払利息	121	123
為替差損	71	65
その他	79	39
営業外費用合計	271	228
経常利益	2,880	3,335
特別利益		
投資有価証券売却益	—	5
土地売却益	289	—
債務保証損失引当金戻入額	61	—
貸倒引当金戻入額	38	—
特別利益合計	389	5
特別損失		
固定資産除売却損	184	57
投資有価証券評価損	166	—
特別損失合計	351	57
税金等調整前四半期純利益	2,918	3,283
法人税、住民税及び事業税	153	388
法人税等調整額	1,099	873
法人税等合計	1,252	1,262
少数株主損益調整前四半期純利益	1,665	2,021
少数株主利益	14	13
四半期純利益	1,651	2,007



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,665	2,021
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,083	175
為替換算調整勘定	26	54
持分法適用会社に対する持分相当額	5	9
その他の包括利益合計	△1,051	240
四半期包括利益	614	2,261
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	594	2,240
少数株主に係る四半期包括利益	19	21

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報

【報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	鋼材	特殊材	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	30,993	1,245	3,811	36,050	10	36,061	—	36,061
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,611	—	—	2,611	203	2,815	△2,815	—
計	33,605	1,245	3,811	38,661	214	38,876	△2,815	36,061
セグメント利益	2,040	287	230	2,557	10	2,567	415	2,983

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業であります。  
 2. セグメント利益の調整額415百万円は、棚卸資産の調整額413百万円、セグメント間取引消去等9百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△6百万円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	鋼材	特殊材	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	36,645	1,566	4,014	42,226	17	42,244	—	42,244
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,387	—	—	2,387	135	2,523	△2,523	—
計	39,033	1,566	4,014	44,614	152	44,767	△2,523	42,244
セグメント利益 又は損失(△)	2,827	160	253	3,241	△6	3,234	185	3,420

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業であります。  
 2. セグメント利益又は損失の調整額185百万円は、棚卸資産の調整額167百万円、セグメント間取引消去25百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△6百万円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 参考資料

## 平成24年3月期 第1四半期決算発表

&lt;連結&gt;

## 1. 当四半期業績

(単位：百万円、%)

	当期 第1四半期	前期 第1四半期	増減額	増減率	業績予想(7/28公表)	
					第2四半期 累計期間	通期
売上高	42,244	36,061	6,182	17.1	75,000	155,000
営業利益	3,420	2,983	436	14.6	4,500	11,600
経常利益 (ROS)	3,335 (7.9)	2,880 (8.0)	455 (△0.1)	15.8	4,500 (6.0)	11,500 (7.4)
当期純利益	2,007	1,651	355	21.5	2,700	6,900
設備投資	2,742	1,378	1,363	98.9		16,000
減価償却費	2,344	2,277	67	2.9		11,000

(参考) 四半期業績推移

(単位：百万円、%)

	23年3月期					24年3月期
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期	4-6月期
売上高	36,061	40,344	41,054	42,051	159,512	42,244
営業利益	2,983	4,426	3,771	3,015	14,199	3,420
経常利益 (ROS)	2,880 (8.0)	4,136 (10.3)	3,374 (8.2)	3,002 (7.1)	13,395 (8.4)	3,335 (7.9)
当期純利益	1,651	2,393	2,056	1,720	7,822	2,007
棚卸資産評価損影響	○504	○17	×14	○28	○536	○112
〃 を除く経常利益	2,375	4,118	3,389	2,973	12,859	3,223

## 2. 当第1四半期の経常利益増減要因 (対前年同期)

(単位：億円)

増 益 要 因		減 益 要 因	
1. 販売数量・価格・構成	20	1. 原燃料価格の上昇	14
2. 変動費のコストダウン	7	2. 固定費の増加	8
3. 連結子会社の利益増	4	3. 棚卸資産評価損影響	4
計 (A)	31	計 (B)	26
		差引 (A) - (B)	5

## 3. 24年3月期(通期予想)の経常利益増減要因 (対前期)

(単位：億円)

増 益 要 因		減 益 要 因	
1. 販売数量・価格・構成	69	1. 原燃料価格の上昇	103
2. 変動費のコストダウン	36	2. 固定費の増加	20
3. 連結子会社の利益増	4	3. 棚卸資産評価損影響	5
計 (A)	109	計 (B)	128
		差引 (A) - (B)	△19